



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 リスクモンスター株式会社
 コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役COO兼CFO
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 菅野 健一
 (氏名) 藤本 太一

TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,872	3.8	175	△9.2	176	△7.6	99	0.1
23年3月期第3四半期	1,804	9.5	193	13.3	191	11.7	99	19.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 84百万円 (△37.2%) 23年3月期第3四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2,549.40	—
23年3月期第3四半期	2,546.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,573	3,281	90.9
23年3月期	3,747	3,221	84.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,248百万円 23年3月期 3,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	750.00	750.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	4.4	215	△9.8	215	△10.5	120	△3.4	3,079.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	40,383 株	23年3月期	40,383 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,414 株	23年3月期	1,414 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	38,969 株	23年3月期3Q	38,969 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	12
要約連結キャッシュ・フロー	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから緩やかに回復の兆しが見られるものの、海外経済の減速や円高の進行など不安材料が払拭されないことから、景気の先行きは依然予断を許さない状況が続いております。当社グループを取り巻く経営環境といたしましては、企業全般における経費削減傾向が続いており、厳しい事業環境となりました。今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「第3次中期経営計画(2011~2013年度)」をスタート(4月)
- ・東日本大震災における被災地復興支援プログラム「リスモン義援金」を実施(4月)
- ・eラーニングを中心とした企業の人材開発、育成支援サービスの拡大を目的に教育事業部を新設(4月)
- ・設立10周年記念配当として1株当たり500円の初配当を実施(6月)
- ・市場調査、マーケティング支援事業を拡大することを目的に、「第1回PRキャラクターブランド調査」報告書を発表(6月)
- ・連結子会社であるサイバックス株式会社を移転し、グループの本社機能を集約(7月)
- ・与信管理サービス「e-与信ナビ」リニューアル(7月)
- ・集合研修とeラーニングを組み合わせ、定額制でリーズナブルな「ラーニングモンスター 研修パック」を提供開始(8月)
- ・事業継続計画に基づく障害復旧訓練(8月)
- ・企業活動調査第二弾「この企業に勤める人と結婚したいアンケート調査」報告書を発表(10月)
- ・クラウドコンピューティングEXPOに出展(10月)
- ・東京ビジネス・サミットin神戸に出展(12月)
- ・株式会社日本電子記録債権研究所の新株予約権付社債の引受け(12月)

その結果、売上高につきましては、BPOサービスの売上高が増加し、また、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の売上高が堅調に推移したことで、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,872,988千円(前年同期比103.8%)となりました。

利益につきましては、東日本大震災の影響や長引く景気低迷の影響を受け、また、連結子会社のリストラ費用の計上もあり、当第3四半期連結累計期間の営業利益は175,358千円(前年同期比90.8%)、経常利益は176,891千円(前年同期比92.4%)、四半期純利益は99,347千円(前年同期比100.1%)となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		前年同期比 (%)
	売上高 (千円)	対売上比 (%)	売上高 (千円)	対売上比 (%)	
売上高(千円)	1,804,478	100.0	1,872,988	100.0	103.8
営業利益(千円)	193,130	10.7	175,358	9.4	90.8
経常利益(千円)	191,526	10.6	176,891	9.4	92.4
四半期純利益(千円)	99,219	5.5	99,347	5.3	100.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

第3四半期は、第2四半期に比べ売上高が伸び悩んだことに伴い利益も落ち込みました。第1四半期に行った連結子会社のリストラクチャリング及びグループの本社機能を集約したことに伴いコストが削減されたこと、また、グループ内での業務フローの共通化を進めたこと等から、第2四半期以降は、収益構造は改善しております。

当期の四半期毎の売上高及び利益の推移は、次のとおりであります。

	当第1四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
売上高 (千円)	603,992	650,926	618,069
営業利益 (千円)	32,004	77,615	65,738
経常利益 (千円)	34,156	76,840	65,895
四半期純利益 (千円)	24,743	37,632	36,971

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

① セグメント別の業績について

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

当第3四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は1,093,803千円（前年同期比96.4%）、セグメント利益は104,410千円（前年同期比85.6%）となりました。

第3四半期は、第2四半期に引き続きポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が好調だったことによりセグメント利益も大幅に回復しました。しかしながら、依然ASPサービスの売上高が低調で、累計では与信管理サービス等全体の売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

与信管理サービス等の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同期比 (%)	
与信管理サービス等	ASPサービス (千円) (注) 2	956,260	94.8	
	コンサルティングサービス	ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス (千円)	100,298	107.3
		その他 (千円) (注) 3	37,244	114.6
		コンサルティングサービス売上高 合計 (千円)	137,543	109.2
	与信管理サービス等売上高合計 (千円)		1,093,803	96.4

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約250万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス
3. 「金融サービス」等を含むその他サービス

i) ASPサービス

会員数は増加しているものの、長引く景気低迷による経費削減対策の影響を受け利用件数が落ち込んだこと等により、与信管理サービス等のASPサービスの売上高は956,260千円（前年同期比94.8%）となりました。

また、与信管理サービス等の会員数の推移（累計）は、次のとおりであります。

回次	第10期	第11期	当第3四半期
決算年月	平成22年3月	平成23年3月	平成23年12月
会員数（注）	3,043	3,488	4,191
（内、提携会員数）	（－）	（599）	（1,234）

（注）与信意思決定サービス「e-与信ナビ」及び関連サービスを利用できるライト会員、「e-与信ナビ」及び動態管理サービスである「e-管理ファイル」並びに関連サービスを利用できるレギュラー会員、提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

ii) コンサルティングサービス

ポートフォリオサービスの受注件数が増加したこと等により、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高は100,298千円（前年同期比107.3%）となりました。また、金融サービス等を含むその他の売上高が37,244千円（前年同期比114.6%）と順調に推移した結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は137,543千円（前年同期比109.2%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）について

当第3四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高の合計は385,376千円（前年同期比101.6%）、セグメント利益は87,067千円（前年同期比116.8%）となりました。

会員数は減少しているもののユーザー数及びディスク容量の利用が堅調に推移したことに伴い、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）	前年同期比 （%）
ビジネスポータル サイト（グループ ウェアサービス 等）	ASPサービス（千円）（注）2	335,405	103.6
	その他（千円）（注）3	49,971	90.3
	ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等） 売上高合計（千円）	385,376	101.6

（注）1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員向けサービス

3. ホスティングサービス等を含むその他サービス

また、ビジネスポータルサイトの会員数及びユーザー数の推移（累計）は次のとおりであります。

回次	第10期	第11期	当第3四半期
決算年月	平成22年3月	平成23年3月	平成23年12月
会員数（ID数）	4,214	3,955	3,805
ユーザー数	128,927	131,085	129,189

（注）インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員及びユーザー数

ウ) BPOサービスについて

当第3四半期連結累計期間のデジタルデータ化サービス等を中心としたBPOサービスの売上高の合計は325,578千円(前年同期比236.2%)、セグメント損失は4,250千円(前年同期はセグメント損失19,310千円)となりました。

売上高につきましては、平成23年1月に連結子会社リスモン・マッスル・データ株式会社が日本アウトソーシング株式会社の全株式を取得したこと等により前年同期を大きく上回りました。セグメント利益につきましては、グループの事務処理集中センターとしてコストセンター部門の費用を負担しているものの、不採算案件から撤退したこと等に伴い収益構造が大幅に改善いたしました。

BPOサービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
BPOサービス (注) 2	デジタルデータ化等BPOサービス(千円)	296,233	241.8
	派遣事業サービス(千円)	29,344	191.4
	BPOサービス売上高合計(千円)	325,578	236.2

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)サービス

エ) その他サービスについて

当第3四半期連結累計期間の教育関連事業を含むその他サービスの売上高は120,671千円(前年同期比65.8%)、セグメント損失は11,903千円(前年同期はセグメント利益15,891千円)となりました。

教育関連事業を営む連結子会社サイバックス株式会社の第3四半期は、景気低迷の影響を受け厳しい状況にあるものの、第1四半期に実施したコスト削減施策の効果や、グループ内での業務フローの共通化が図られたこと等から収益構造が改善され、第2四半期に引き続き黒字転換いたしました。しかしながら、第1四半期の東日本大震災の影響とリストラクチャリングに伴う一時的な費用負担に伴う損失を吸収できず、累計ではセグメント損失となりました。

その他サービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
その他	「教育関連事業」等を含むその他サービス(千円)	120,671	65.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 会員数について

当第3四半期連結会計期間末の会員数は、与信管理サービス等が4,191会員、ビジネスポータルサイトが3,805会員、合計7,996会員となりました。会員数の推移(累計)を示すと、次のとおりであります。

回次	第8期	第9期	第10期	第11期	当第3 四半期
決算年月	平成20年 3月	平成21年 3月	平成22年 3月	平成23年 3月	平成23年 12月
与信管理サービス等(注)1	3,783	3,378	3,043	3,488	4,191
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等)(注)2	4,196	4,371	4,214	3,955	3,805
会員数合計	7,979	7,749	7,257	7,443	7,996

- (注) 1. 与信意思決定サービス「e-与信ナビ」及び関連サービスを利用できるライト会員、「e-与信ナビ」及び動態管理サービスである「e-管理ファイル」並びに関連サービスを利用できるレギュラー会員、提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計
2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員
3. 会員数は当社に登録されているID数
なお、与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)に重複登録している会員が一部おります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ68,853千円減少し、2,475,718千円となりました。これは主に、法人税等の納付及び未払金の支払、連結子会社サイバックス株式会社の借入金の返済等により現預金が減少したことや売掛金が減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ105,371千円減少し、1,097,440千円となりました。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ174,224千円減少し、3,573,159千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ175,267千円減少し、276,917千円となりました。これは主に、法人税等の納付及び未払金の支払等によるものです。固定負債は前連結会計年度末と比べ59,076千円減少し、14,421千円となりました。これは主に、サイバックス株式会社の借入金の返済等によるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ234,343千円減少し、291,339千円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により前連結会計年度末と比べ60,118千円増加し、3,281,819千円となりました。また、自己資本比率は90.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しといたしましては、売上高2,570百万円(前年同期比104.4%)、営業利益215百万円(前年同期比90.2%)、経常利益215百万円(前年同期比89.5%)、当期純利益120百万円(前年同期比96.6%)を予定しております。

業績予想に対する当第3四半期連結累計期間の進捗につきましては、景気低迷の影響を受けたことや連結子会社のリストラ費用を計上したものの、売上高、利益ともにほぼ当初の予定どおりに進捗しております。今後は、引き続きグループ内での業務フローの共通化を進めることで一層の低コスト構造の維持に努め、当初の業績予想を達成すべくグループ一丸となって邁進してまいります。

現時点におきましては、通期の連結業績予想の変更はございません。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
平成24年3月期予想	2,570	215	215	120
平成23年12月第3四半期実績	1,872	175	176	99
進捗率(%)	72.9	81.6	82.3	82.8

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,022,793	1,965,990
受取手形及び売掛金	361,173	315,921
有価証券	99,996	149,946
原材料及び貯蔵品	5,565	4,440
その他	58,932	43,114
貸倒引当金	△3,887	△3,693
流動資産合計	2,544,572	2,475,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,947	69,435
減価償却累計額	△22,791	△28,314
建物及び構築物(純額)	46,155	41,121
工具、器具及び備品	364,255	387,312
減価償却累計額	△252,572	△293,242
工具、器具及び備品(純額)	111,683	94,069
リース資産	6,195	6,195
減価償却累計額	△2,263	△3,193
リース資産(純額)	3,931	3,002
建設仮勘定	6,035	1,515
有形固定資産合計	167,805	139,709
無形固定資産		
のれん	32,030	17,949
ソフトウェア	518,059	488,723
その他	45,867	42,189
無形固定資産合計	595,957	548,862
投資その他の資産		
投資有価証券	300,672	274,248
その他	138,723	134,867
貸倒引当金	△347	△248
投資その他の資産合計	439,047	408,868
固定資産合計	1,202,811	1,097,440
資産合計	3,747,383	3,573,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	241,151	153,280
未払法人税等	95,084	22,374
賞与引当金	1,232	625
その他	114,717	100,637
流動負債合計	452,185	276,917
固定負債		
退職給付引当金	7,641	7,888
その他	65,856	6,532
固定負債合計	73,497	14,421
負債合計	525,682	291,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,107,428	1,107,428
資本剰余金	1,308,089	1,308,089
利益剰余金	806,548	886,411
自己株式	△68,700	△68,700
株主資本合計	3,153,365	3,233,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,656	15,109
その他の包括利益累計額合計	23,656	15,109
新株予約権	3,884	4,938
少数株主持分	40,794	28,543
純資産合計	3,221,701	3,281,819
負債純資産合計	3,747,383	3,573,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,804,478	1,872,988
売上原価	765,353	861,849
売上総利益	1,039,125	1,011,138
販売費及び一般管理費	845,994	835,780
営業利益	193,130	175,358
営業外収益		
受取利息	817	429
受取配当金	1,754	5,348
その他	848	234
営業外収益合計	3,420	6,012
営業外費用		
支払利息	1,820	1,299
投資事業組合運用損	2,285	2,479
その他	919	699
営業外費用合計	5,025	4,478
経常利益	191,526	176,891
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16,047
段階取得に係る差益	1,298	—
新株予約権戻入益	64	35
負ののれん発生益	—	4,973
その他	22	—
特別利益合計	1,386	21,056
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,371	—
投資有価証券売却損	—	11,840
事務所移転費用	—	3,954
固定資産除却損	—	308
特別損失合計	2,371	16,102
税金等調整前四半期純利益	190,540	181,845
法人税、住民税及び事業税	71,758	70,457
法人税等調整額	10,120	18,814
法人税等合計	81,878	89,271
少数株主損益調整前四半期純利益	108,662	92,573
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,442	△6,773
四半期純利益	99,219	99,347

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,662	92,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,148	△8,550
その他の包括利益合計	25,148	△8,550
四半期包括利益	133,810	84,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,367	90,799
少数株主に係る四半期包括利益	9,442	△6,776

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,133,000	378,052	111,735	1,622,788	181,690	1,804,478	—	1,804,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,274	1,069	26,106	28,450	1,712	30,162	△30,162	—
計	1,134,274	379,122	137,842	1,651,238	183,403	1,834,641	△30,162	1,804,478
セグメント利益又は 損失(△)	121,996	74,547	△19,310	177,234	15,891	193,125	5	193,130

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,093,330	385,257	275,315	1,753,904	119,084	1,872,988	—	1,872,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	473	118	50,262	50,854	1,587	52,441	△52,441	—
計	1,093,803	385,376	325,578	1,804,758	120,671	1,925,429	△52,441	1,872,988
セグメント利益又は 損失(△)	104,410	87,067	△4,250	187,227	△11,903	175,324	33	175,358

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	399,039	270,762
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△145,029	△220,236
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△3,052	△107,473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	250,956	△56,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,739,347	2,022,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,990,304	1,965,494

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 190,540 減価償却費 213,861 法人税等の支払額 △20,321 ※2 有形固定資産の取得による支出 △35,056 無形固定資産の取得による支出 △153,425 投資有価証券の取得による支出 △46,421 ※3 長期借入金の返済による支出 △2,325 配当金の支払額 —	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 181,845 減価償却費 219,030 法人税等の支払額 △139,992 ※2 有形固定資産の取得による支出 △38,806 無形固定資産の取得による支出 △146,484 投資有価証券の取得による支出 △110,397 ※3 長期借入金の返済による支出 △87,433 配当金の支払額 △19,166